

## 16. 入院患者の転倒・転落発生率

### 算式

$$\frac{\text{【分子】 入院中患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{【分母】 入院患者延数}} \times 1000$$

### 定義

入院患者の転倒・転落発生割合

### 指標の解説

施設調査より抽出

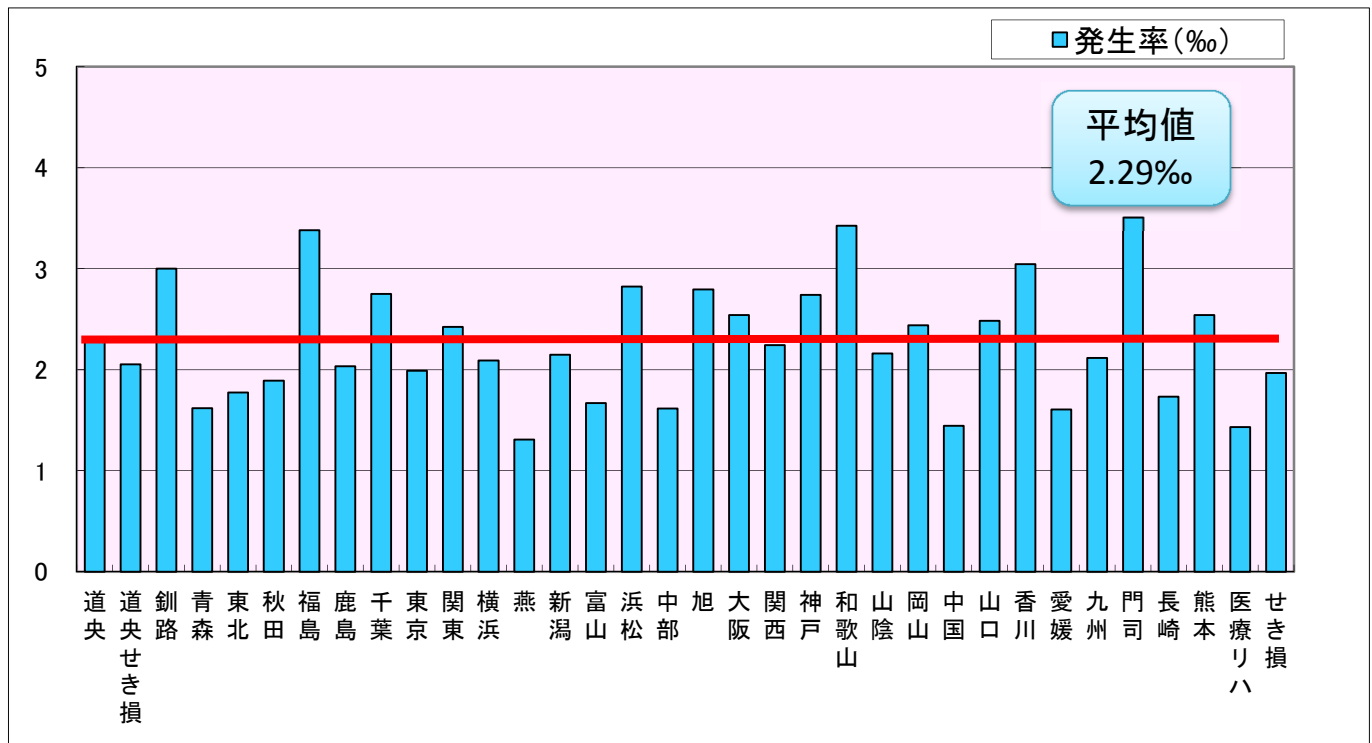
安全で質の高い医療の提供に関して、医療安全対策への取組について入院患者の転倒・転落の発生状況から評価する。

インシデント・アクシデント事例の中で転倒・転落件数が最も多く、各病院では医療安全対策の取組として転倒・転落のリスクをアセスメントして予防策を立案・実行している。

転倒・転落発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、またその効果が表れていると評価できる。

※ ‰ = 1000分の1

# 16. 入院患者の転倒・転落発生率



施設名	分母	分子	発生率(%)	
道央	88,165	202	2.29	
道央せき	47,737	98	2.05	
釧路	138,308	415	3.00	
青森	89,010	144	1.62	
東北	159,352	283	1.78	
秋田	69,757	132	1.89	
福島	108,569	367	3.38	
鹿島	37,849	77	2.03	
千葉	127,286	350	2.75	
東京	123,618	246	1.99	
関東	191,487	464	2.42	
横浜	206,167	431	2.09	
燕	77,147	101	1.31	
新潟	93,139	200	2.15	
富山	86,206	144	1.67	
浜松	89,623	253	2.82	
中部	170,171	275	1.62	
旭	78,313	219	2.80	
大阪	209,421	532	2.54	
関西	197,378	443	2.24	
神戸	109,480	300	2.74	
和歌山	98,389	337	3.43	
山陰	116,158	251	2.16	
岡山	109,001	266	2.44	
中国	131,433	190	1.45	
山口	98,261	244	2.48	
香川	132,610	404	3.05	
愛媛	64,127	103	1.61	
九州	144,154	305	2.12	
門司	63,840	224	3.51	
長崎	103,309	179	1.73	
熊本	130,678	332	2.54	
医療りハ	39,124	56	1.43	
せき損	48,315	95	1.97	
合計	3,777,582	8,662	2.29	
平均	500床以上	188,996	405	2.14
	400床以上	132,580	306	2.31
	300床以上	99,933	242	2.42
	200床以上	62,777	151	2.41
	200床未満	45,059	83	1.84